

通貨選択型アメリカン・ エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第48期(決算日 2019年7月17日)
第49期(決算日 2019年8月19日)
第50期(決算日 2019年9月17日)
第51期(決算日 2019年10月17日)
第52期(決算日 2019年11月18日)
第53期(決算日 2019年12月17日)

(作成対象期間 2019年6月18日~2019年12月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	約10年間(2015年6月26日~2025年6月17日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比	債券 組入率	投資信託 証券比率	純資産 総額
	(分配落)	税分	込配	み金				
24期末（2017年7月18日）	円 7,188			円 180		% —	% 99.2	百万円 3,586
25期末（2017年8月17日）	7,011			180		—	98.1	3,346
26期末（2017年9月19日）	7,022			180		—	98.8	3,138
27期末（2017年10月17日）	6,958			180		—	97.1	3,044
28期末（2017年11月17日）	6,687			180	△	—	98.1	2,866
29期末（2017年12月18日）	6,640			180		—	95.9	2,827
30期末（2018年1月17日）	6,652			120		—	96.0	2,801
31期末（2018年2月19日）	6,212			120	△	—	98.7	2,408
32期末（2018年3月19日）	6,044			120	△	—	98.7	2,296
33期末（2018年4月17日）	5,804			120	△	—	98.6	2,171
34期末（2018年5月17日）	5,539			120	△	—	98.7	2,056
35期末（2018年6月18日）	5,400			120	△	—	98.5	1,874
36期末（2018年7月17日）	5,339			120		—	98.4	1,836
37期末（2018年8月17日）	5,243			120		—	98.6	1,736
38期末（2018年9月18日）	4,937			120	△	—	97.9	1,600
39期末（2018年10月17日）	5,115			80		—	97.1	1,669
40期末（2018年11月19日）	5,081			80		—	99.2	1,604
41期末（2018年12月17日）	4,752			80	△	—	98.4	1,423
42期末（2019年1月17日）	4,633			80	△	—	98.7	1,346
43期末（2019年2月18日）	4,789			80		—	98.4	1,385
44期末（2019年3月18日）	4,715			80		—	98.0	1,323
45期末（2019年4月17日）	4,695			80		—	98.6	1,292
46期末（2019年5月17日）	4,367			80	△	—	97.9	1,213
47期末（2019年6月17日）	4,384			80		—	98.4	1,222
48期末（2019年7月17日）	4,474			80		—	98.5	1,239
49期末（2019年8月19日）	3,917			80	△	—	98.1	1,086
50期末（2019年9月17日）	4,006			80		—	98.4	1,113
51期末（2019年10月17日）	3,861			80	△	—	99.0	1,057
52期末（2019年11月18日）	3,864			80		—	97.8	1,071
53期末（2019年12月17日）	3,934			80		—	98.3	1,085

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

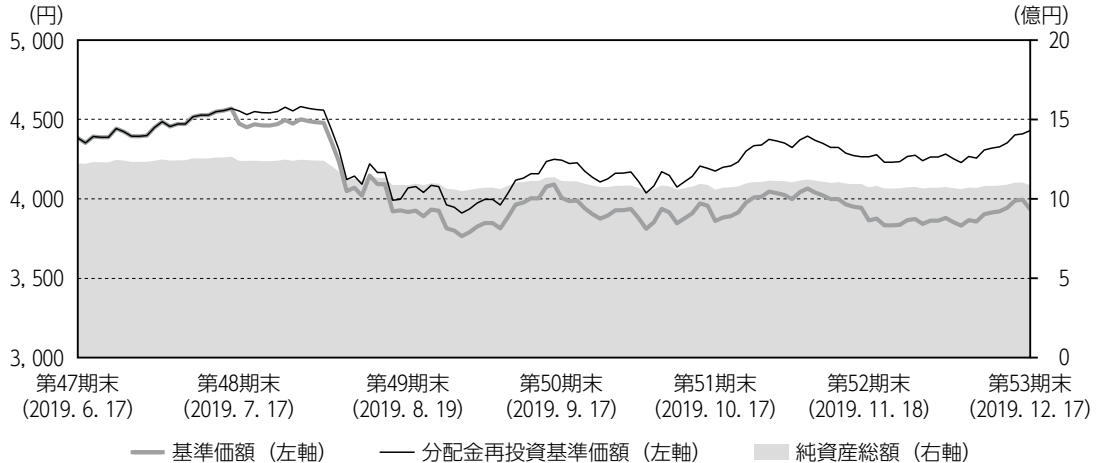
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第48期首：4,384円

第53期末：3,934円（既払分配金480円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・リアル）のカバードコール戦略を構築した結果、ブラジル・リアルが対円で下落したこと

はマイナス要因となりましたが、株式が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引については、株式のオプションがマイナス要因となった一方で、通貨のオプションがプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第48期	(期 首) 2019年 6月17日	4,384	—	—	98.4
	6月末	4,399	0.3	—	97.8
	(期 末) 2019年 7月17日	4,554	3.9	—	98.5
第49期	(期 首) 2019年 7月17日	4,474	—	—	98.5
	7月末	4,483	0.2	—	98.7
	(期 末) 2019年 8月19日	3,997	△ 10.7	—	98.1
第50期	(期 首) 2019年 8月19日	3,917	—	—	98.1
	8月末	3,826	△ 2.3	—	98.7
	(期 末) 2019年 9月17日	4,086	4.3	—	98.4
第51期	(期 首) 2019年 9月17日	4,006	—	—	98.4
	9月末	3,929	△ 1.9	—	99.2
	(期 末) 2019年10月17日	3,941	△ 1.6	—	99.0
第52期	(期 首) 2019年10月17日	3,861	—	—	99.0
	10月末	4,024	4.2	—	98.4
	(期 末) 2019年11月18日	3,944	2.1	—	97.8
第53期	(期 首) 2019年11月18日	3,864	—	—	97.8
	11月末	3,863	△ 0.0	—	98.0
	(期 末) 2019年12月17日	4,014	3.9	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 6. 18 ~ 2019. 12. 17）

■ 米国株式市況

i シェアーズ好配当株式 E T F（配当再投資）は米ドルベースで上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇して始まりましたが、2019年8月に入ると、トランプ米国大統領が対中国関税第4弾の発動を表明したほか、米国債券市場において景気後退の前兆とされる長短金利の逆転が生じたことから、株価は下落しました。その後は、米中両国による閣僚級貿易協議の再開見通しが強まったことなどが好感され、回復基調となりました。11月から当作成期末にかけては、英国の合意なき E U（欧州連合）離脱回避への期待が高まったことなども材料となり、堅調に推移しました。

■ 為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首より、ブラジルでボルソナロ大統領の景気政策の柱である年金改革法案がブラジル連邦議会下院で可決されたことを受けて、レアルは上昇して始まりましたが、2019年7月から8月にかけては、米中貿易摩擦激化への懸念が強まり下落しました。また、アルゼンチン大統領予備選挙で現職のマクリ大統領が大敗したことを受けて、アルゼンチン・ペソが急落したことも、レアルの重しとなりました。10月には、ブラジル国内で年金改革法案が上院で可決されたことなどを受けてレアルが反発する場面もありましたが、11月に入り、ブラジル最大規模の油田の開発権をめぐる入札が期待はずれの結果に終わったことなどから再び下落しました。

■ 短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを合計0.75%ポイント引き下げ、1.50~1.75%としました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を合計2.00%ポイント引き下げ、4.50%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りをを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りをを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 6. 18～2019. 12. 17）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式に投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りをを行い、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りをを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2019年6月18日 ～2019年7月17日	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.76	2.00	1.96	2.03	2.03	1.99
当期の収益 (円)	76	80	67	67	74	57
当期の収益以外 (円)	3	—	12	12	5	22
翌期繰越分配対象額 (円)	4,470	4,476	4,464	4,452	4,448	4,425

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 76.91円	✓ 85.54円	✓ 67.37円	✓ 67.66円	✓ 74.65円	✓ 57.56円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,311.79	4,313.90	4,315.68	4,317.93	4,322.95	4,325.07
(d) 分配準備積立金	✓ 162.16	157.29	✓ 161.19	✓ 146.64	✓ 130.43	✓ 123.26
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,550.87	4,556.74	4,544.25	4,532.24	4,528.04	4,505.90
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,470.87	4,476.74	4,464.25	4,452.24	4,448.04	4,425.90

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期 (2019. 6. 18～2019. 12. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	25円	0.610%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,070円です。
（投 信 会 社）	(9)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(15)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.043	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投 資 信 託 受 益 証 券）	(2)	(0.043)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	27	0.657	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

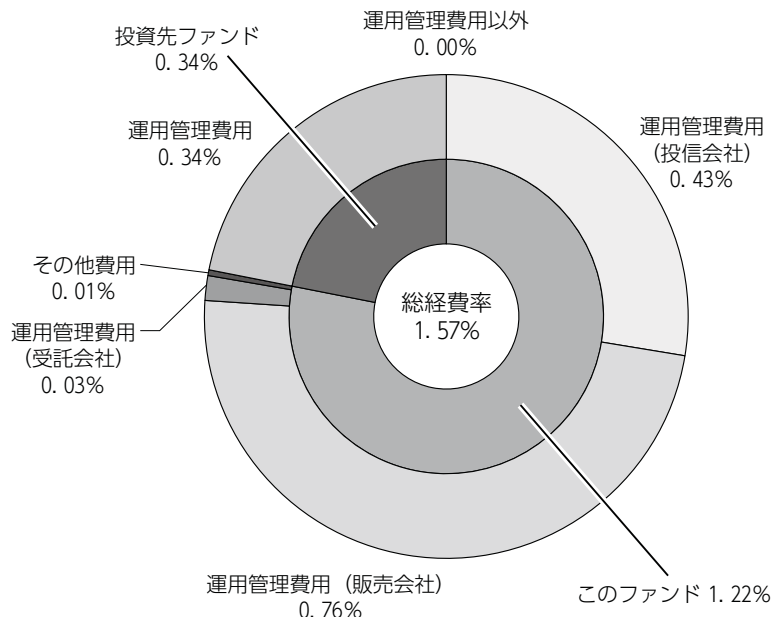
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.57%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年6月18日から2019年12月17日まで)

決算期	第 48 期 ~ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	6,477.11353	135,607	7,709.20642	162,511

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年6月18日から2019年12月17日まで)

第 48 期 ~ 第 53 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	537.24054	11,000	20	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	7,709.20642	162,511	21

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 53 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	50,803.27996	1,066,360	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 47 期 末	第 53 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月17日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,066,360	95.9
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	45,526	4.1
投資信託財産総額	1,112,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月17日)、(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日) 現在

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
(A) 資産	1,265,427,327円	1,110,289,324円	1,138,446,675円	1,088,310,880円	1,100,914,698円	1,112,046,960円
コーポ・ローン等	43,668,480	44,319,221	43,438,409	40,256,371	51,929,650	45,526,512
投資信託受益証券 (評価額)	1,221,599,197	1,065,810,469	1,094,848,632	1,047,894,891	1,048,825,430	1,066,360,846
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (評価額)	159,650	159,634	159,634	159,618	159,618	159,602
(B) 負債	25,770,895	23,627,672	25,370,719	30,330,623	29,018,156	26,929,240
未払収益分配金	22,164,297	22,192,671	22,227,687	21,919,110	22,193,032	22,066,961
未払解約金	2,360,028	115,838	2,066,701	7,291,663	5,597,758	3,760,611
未払信託報酬	1,237,926	1,301,947	1,051,966	1,088,211	1,187,661	1,055,107
その他未払費用	8,644	17,216	24,365	31,639	39,705	46,561
(C) 純資産総額 (A - B)	1,239,656,432	1,086,661,652	1,113,075,956	1,057,980,257	1,071,896,542	1,085,117,720
元本	2,770,537,249	2,774,083,971	2,778,460,983	2,739,888,771	2,774,129,087	2,758,370,177
次期繰越損益金	△ 1,530,880,817	△ 1,687,422,319	△ 1,665,385,027	△ 1,681,908,514	△ 1,702,232,545	△ 1,673,252,457
(D) 受益権総口数	2,770,537,249口	2,774,083,971口	2,778,460,983口	2,739,888,771口	2,774,129,087口	2,758,370,177口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,474円	3,917円	4,006円	3,861円	3,864円	3,934円

* 第47期末における元本額は2,788,701,038円、当作成期間 (第48期~第53期) 中における追加設定元本額は244,002,264円、同解約元本額は274,333,125円です。

* 第53期末の計算口数当りの純資産額は3,934円です。

* 第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,673,252,457円です。

■損益の状況

第48期 自2019年6月18日 至2019年7月17日 第50期 自2019年8月20日 至2019年9月17日 第52期 自2019年10月18日 至2019年11月18日
 第49期 自2019年7月18日 至2019年8月19日 第51期 自2019年9月18日 至2019年10月17日 第53期 自2019年11月19日 至2019年12月17日

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(A) 配当等収益	21,872,983円	25,042,791円	19,143,783円	19,634,459円	21,829,322円	16,287,771円
受取配当金	21,874,365	25,044,359	19,145,135	19,635,402	21,830,396	16,288,684
受取利息	27	1	24	17	13	47
支払利息	△ 1,409	△ 1,569	△ 1,376	△ 960	△ 1,087	△ 960
(B) 有価証券売買損益	26,411,904	△ 155,672,489	28,831,973	△ 36,061,545	1,507,460	26,102,112
売買益	26,496,567	248,979	28,857,216	697,182	1,816,786	26,113,869
売買損	△ 84,663	△ 155,921,468	△ 25,243	△ 36,758,727	△ 309,326	△ 11,757
(C) 信託報酬等	△ 1,246,570	△ 1,310,771	△ 1,059,115	△ 1,095,508	△ 1,195,727	△ 1,062,128
(D) 当期損益金 (A + B + C)	47,038,317	△ 131,940,469	46,916,641	△ 17,522,594	22,141,055	41,327,755
(E) 前期繰越損益金	△ 794,970,765	△ 762,430,924	△ 908,726,429	△ 860,456,489	△ 884,842,447	△ 867,049,517
(F) 追加信託差損益金	△ 760,784,072	△ 770,858,255	△ 781,347,552	△ 782,010,321	△ 817,338,121	△ 825,463,734
(配当等相当額)	(1,194,599,135)	(1,196,714,093)	(1,199,096,054)	(1,183,066,474)	(1,199,243,064)	(1,193,014,944)
(売買損益相当額)	(△ 1,955,383,207)	(△ 1,967,572,348)	(△ 1,980,443,606)	(△ 1,965,076,795)	(△ 2,016,581,185)	(△ 2,018,478,678)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,508,716,520	△ 1,665,229,648	△ 1,643,157,340	△ 1,659,989,404	△ 1,680,039,513	△ 1,651,185,496
(H) 収益分配金	△ 22,164,297	△ 22,192,671	△ 22,227,687	△ 21,919,110	△ 22,193,032	△ 22,066,961
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,530,880,817	△ 1,687,422,319	△ 1,665,385,027	△ 1,681,908,514	△ 1,702,232,545	△ 1,673,252,457
追加信託差損益金	△ 760,784,072	△ 770,858,255	△ 781,347,552	△ 782,010,321	△ 817,338,121	△ 825,463,734
(配当等相当額)	(1,194,599,135)	(1,196,714,093)	(1,199,096,054)	(1,183,066,474)	(1,199,243,064)	(1,193,014,944)
(売買損益相当額)	(△ 1,955,383,207)	(△ 1,967,572,348)	(△ 1,980,443,606)	(△ 1,965,076,795)	(△ 2,016,581,185)	(△ 2,018,478,678)
分配準備積立金	44,072,345	45,172,973	41,280,200	36,798,920	34,701,060	27,814,009
繰越損益金	△ 814,169,090	△ 961,737,037	△ 925,317,675	△ 936,697,113	△ 919,595,484	△ 875,602,732

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,308,279円	23,732,011円	18,721,190円	18,538,947円	20,710,836円	15,879,699円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,194,599,135	1,196,714,093	1,199,096,054	1,183,066,474	1,199,243,064	1,193,014,944
(d) 分配準備積立金	44,928,363	43,633,633	44,786,697	40,179,083	36,183,256	34,001,271
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,260,835,777	1,264,079,737	1,262,603,941	1,241,784,504	1,256,137,156	1,242,895,914
(f) 分配金	22,164,297	22,192,671	22,227,687	21,919,110	22,193,032	22,066,961
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,238,671,480	1,241,887,066	1,240,376,254	1,219,865,394	1,233,944,124	1,220,828,953
(h) 受益権総口数	2,770,537,249口	2,774,083,971口	2,778,460,983口	2,739,888,771口	2,774,129,087口	2,758,370,177口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
		80円	80円	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2020年6月17日から2025年6月17日に変更しました。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2019年12月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書

2018年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）

¥ 1,618,877,993

資産合計

1,618,877,993

負債

負債合計

—

資本（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

受益証券元本

3,208,558,393

繰越損失

(1,589,680,400)

資本合計

¥ 1,618,877,993

資本・負債合計

¥ 1,618,877,993

包括利益計算書

2018年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	¥	643,910,891
金融資産および負債に係る純実現利益 (損益通算後の評価額)		82,256,849
金融資産および負債に係る評価損の純変動 (損益通算後の評価額)		(822,823,808)
収益 (損失) 合計		<u>(96,656,068)</u>

費用

報酬支払代行人手数料		7,975,217
費用合計		<u>7,975,217</u>

営業利益 (損失)

		<u>(104,631,285)</u>
--	--	----------------------

包括利益 (損失) 合計

(運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増 (減))	¥	<u><u>(104,631,285)</u></u>
------------------------------------	---	-----------------------------

2018年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U. S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	3,522,392,338 円
評価額	1,618,877,993 円
評価損	(1,903,514,345) 円

(注) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第53期の決算日（2019年12月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年6月18日～2019年12月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年12月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

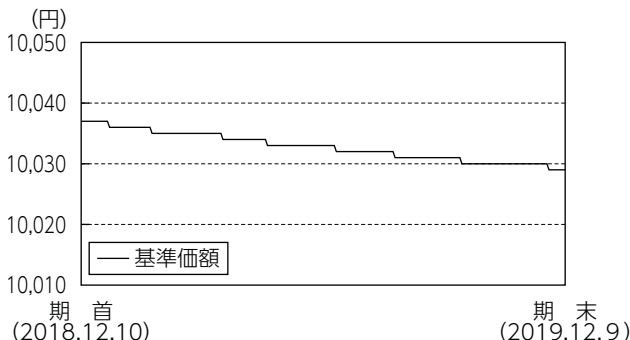
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
	10,037	-	-
12月末	10,037	0.0	-
2019年 1 月末	10,036	△0.0	-
2 月末	10,035	△0.0	-
3 月末	10,034	△0.0	-
4 月末	10,034	△0.0	-
5 月末	10,033	△0.0	-
6 月末	10,032	△0.0	-
7 月末	10,032	△0.0	-
8 月末	10,031	△0.1	-
9 月末	10,030	△0.1	-
10月末	10,030	△0.1	-
11月末	10,029	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,029	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,029円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	330,004	(330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 330,004		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	38,397,784	100.0
投資信託財産総額	38,397,784	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	38,397,784,417円
コール・ローン等	38,397,784,417
(B) 負債	231,026
その他未払費用	231,026
(C) 純資産総額(A - B)	38,397,553,391
元本	38,285,006,118
次期繰越損益金	112,547,273
(D) 受益権総口数	38,285,006,118口
1万口当り基準価額(C/D)	10,029円

* 期首における元本額は69,103,393,644円、当作成期間中における追加設定元本額は48,176,499,313円、同解約元本額は78,994,886,839円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用) 5,951,591,455円、ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用) 17,806,836,243円、ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) 1,089,639円、ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用) 965,948,988円、通貨選択型米国リート・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース) 9,963円、AHLターゲットリスクリイト戦略ファンド (適格機関投資家専用) 3,421,817,396円、ダイワユーロベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 963,651,156円、ダイワ米ドルベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 1,531,319,164円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型) 998円、ダイワTOPIXベア・ファンド (適格機関投資家専用) 7,635,801,481円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型) 9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル - 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,029円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 33,300,262円
受取利息	347,877
支払利息	△ 33,648,139
(B) その他費用	△ 13,012,117
(C) 当期損益金(A + B)	△ 46,312,379
(D) 前期繰越損益金	255,922,474
(E) 解約差損益金	△260,877,509
(F) 追加信託差損益金	163,814,687
(G) 合計(C + D + E + F)	112,547,273
次期繰越損益金(G)	112,547,273

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。